

麦の穂乳幼児ホームかがやき 平成 30 年度 事業計画

1. 子どもたち一人ひとりの主体性を伸ばし、自己肯定感を育む関わりを大切にしていきます。

毎日の生活や遊びを充実させるために、子どもの発達に応じたねらいを明確にし、子どもの思いや意欲を反映した活動を実践します。幼児期の子ども達についてはプレイセラピー等の心理的なアプローチを深めると共に、個別的な関わりとケースカンファレンスを実践していきます。

2. 子どもの育ちが大切につながり続けるように、子どもを取り巻く家族、里親、施設職員との連携を重視していきます。

子どもの育ちは、どのような環境で養育される場合においても、愛情豊かに生きる権利が守られなければなりません。子どもが大切にされたと実感できるつながりの構築について、関係者との取り組みを深めていきます。生い立ちを知る準備の取り組みを意識して実践します。

3. 子ども相談センター(児童相談所)と近隣市町村との連携を強化し、地域全体の子育て支援の取り組みが今まで以上に充実したものとなるよう努めていきます。

法人内の子ども家庭支援センターとも協働し、市町村と連携を深め、きめ細かな支援ができるよう働きかけます。また、里親支援機関としてのニーズが高まっていることを重視し、子どもの育ちを中心に置いた具体的な連携強化をはかっていきます。